

聞かせているよ♪

お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長

☆ある日の出来事

4才の男の子。今日は初めての治療です。少し前に別の歯医者に行ったのですが、泣いて口を開けてくれなかったそうです。今日も、治療台の上であおむけになるものの、目を閉じたままうっすら涙を浮かべています。

そこで、ちよつと間を取るため、そしてその子のことをもつと知るために、歯科衛生士は器具を準備しながら、治療台のそばにいるママとお話を始めました。

「どんな食べ物が好きですか？」
「いま何にハマっていますか？」

笑い声もまじえて、「そうですね〜」などとママとお話をしたあと、頃合いを見て男の子に「お口を開けてね」と声をかけると、目は閉じたままですが、すんなりと自分から口を開けたのです！それからは、スムーズにすべての治療がすすみ、男の子は治療の途中で寝てしまいました。

その様子を見てママはビックリしていました。が、私にはその理由の察しがつきました。男の子は目を閉じたままでも、大好きなママと親しく会話をしているのを聞いていて、歯科衛生士と私のことを信用したのです。

☆笑顔であふれる場所

小さな子が「イヤだ〜」と、かんしゃくをおこして、ただ感情を爆発させて抵抗しているように見える時も、同時に聞き耳をたてて周りの反応をうかがっている、その冷静な、ある意味、したたかな行動がとれることに驚かされます。

「小さな子は、どうせ言ってもわからないから」と、有無を言わさず体を押さえつけたり、ましてや暴力をふるったりするのは間違っています。しつけと、体罰は似て非なるものです。ですから、わたしたちは「会話」をととても大切にしています。言葉のやり取りをしているうちに、警戒する気持ちは消えていきます。

治療の前でも、治療中も、治療が終わった後でも、診療室でも、待合室でも、子どもたちと、保護者の方と、とにかくいろんなお話をするよう心がけています。

そして、お話をしたこ

とを記録に残して、すべてのスタッフが共有できるようにしています。その子のことについて、スタッフ全員が詳しくなれますし、またお話が広がるのです。そうして、私たちと子どもとの信頼関係が生まれると思っています。

また、小さな子どもから学ばせてもらいました。ありがとうございます。やっぱり「こどもはスゴイ！」。



● 情報クリップ ●

新型コロナウイルスの収束が待たれるなかで、私たちは十分な感染対策をとりながら診療しております。皆様とともに、この困難を乗り越えてまいりたいと思います。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:15
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

